

田中町長が新米の初出荷を視察

田中一典町長や北いぶき農協の黒田洋一組合長らが9月14日、お米の出荷が始まったカントリーエレベーターを視察しました。

新米を手にとり、田中町長は「ふるさと納税の返礼品として、全国の食卓に並ぶ立派なお米は、私たちの町の財産」と出来秋を喜び、初出荷した堀田高司さん（町内9区）は「米の質が良く、収量もありそうです」と、日焼けした顔をほころばせました。



新米を手にとり出来秋を喜ぶ田中町長（右）と黒田組合長



人気のプレミアム北彩香なつぼし

モー突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ

4月から、ふるさと納税を担当しています田村翔君です。今回は、新米の季節を迎えた10月にカントリーエレベーターを訪問。精米されたお米が袋に詰められる過程をご紹介します。

ふるさと納税は、故郷や応援したい自治体への寄附額に応じて税の控除が受けられる制度です。各自治体の特産品がお礼の品として寄附者に提供され、妹背牛町の主力返礼品は良質なお米になります。

本町では、いただいた寄附金の使い道について、今年度は保育料や学校給食費の無償化、移住定住施策をPRするテレビ番組の企画に活用する予定です。

今回の企画で訪問したカントリーエレベーターはこの時期、お米の集荷や精米作業がピークを迎え、活況な雰囲気になります。ここで、寄附者の返礼品として人気の高い低タンパク米の「なつぼし」と「ゆめぴりか」の発送準備が行われています。

カントリーエレベーターのドアを開けると、資材を運ぶフォークリフトが忙しそうに動き回っています。

お米の乾燥機や精米機がフル稼働する施設内は機械音が響き渡り、その大きな音は、近くにいっても大声を出さないと会話が難しいほど。人や機械が活

活況なカントリーエレベーターへ



精米されたお米が袋詰めに

「今年も良い出来です」と言っていたように、おいしい妹背牛産米を堪能していただけたら。



ここがカントリーエレベーターです

発に動く様子からも、発送業務の忙しさがうかがえます。

精米機や色選別機のある部屋では、常駐のスタッフが息の合った作業で、まっ白なお米を次々と袋詰めしていきます。

こうして出来上がったお米は、全国各地の食卓へ届けられます。

町内の農家さんが「今年も良い出来です」と言っ